

## 英語の中のラテン語源単語(7)

－中学生以上の英語学習者のために

19.05.15

所内ラテン語研究会

### 1 Pacta sunt servanda.

この文は、「合意は守られるべきである」とか「契約は遵守されなければならない」というように日訳されています。中国語では、“协议应予以遵守”となります。

### 2 pacta は pactum (中性名詞、neuter) の複数 (plural) 主格で、合意、協定又は契約を意味します。そして、次のように変化 (decline) します。

	singular	plural
主格 (nominative)	pactum	pacta
属格 (genitive)	pacti	pactorum
対格 (accusative)	pactum	pacta
与格 (dative)	pacto	pactis
奪格 (ablative)	pacto	pactis

### 3 sunt は、既に述べたように esse (to be) の直説法 (indicative)、現在 (present)、複数、3人称 (the third person) です。

### 4 servanda は、不定法、現在、能動相 servare (第1変化動詞) に由来する動形容詞 (gerundive) であり、「遵守されるべき、遵守されなければならない」(to be observed, to be complied with 等) を意味します。servanda は複数主格であり、その単数主格は次のとおりです。

男性 (masculine)	女性 (feminine)	中性 (neuter)
servandus	servanda	servandum

servare に関連する英単語には、次のものが含まれます。

- (1) conserve, conservation, conservative, conservatory
- (2) observe, observance, observation, observatory
- (3) preserve, preservation, preservative
- (4) reserve, reserved, reservation, reservoir

なお、次の英単語は servare ではなく、servire (to be subject to, to be a servant on slave 等) 及び servus (形容詞=serving, servile, subject 等、名詞=slave, servant 等) に関連する語です。

- (1) serve

- (2) servant
- (3) service
- (4) servile
- (5) servitude
- (6) serf
- (7) sergeant
- (8) deserve, deserved, deserving
- (9) desert (応分の賞罰等)
- (10) disserve
- (11) subserve, subservient
- (12) concierge

5 なお、日本語にも入っている **memorandum** (メモランダム) は、「覚えられるべき、覚えられるべきもの」を意味する動形容詞であって、「覚書」という用語があてられています。中国語では、“备忘录”(忘れるのに備える記録。備忘録)とといいます。

6 ところでラテン語では動詞も変化(活用)しますし、名詞、形容詞等も変化します。前者の変化は **conjugatio** (動詞は **conjugare**) といい、後者の変化は **declinatio** 又は **declinatus** (動詞は **declinare**) とといいます。そして、この両者をまとめて **inflexio** (屈折。動詞は **inflectare**) とといいます。

7 これらの中の **conjugare** を取り上げますと、**con+jugare** となります。**jugare** は **to bind together, connect, couple** 等を意味し、関連ラテン単語としては、名詞 **jugum** (a yoke 等) があり、更に動詞 **jungere** (to yoke 等) につながり、**junctio, junctra** 及び **junctus** が派生します。これらに関連する英単語には、次のものが含まれます。

- (1) join, joint
- (2) junction, juncture
- (3) adjoin, adjoining
- (4) conjoin, conjoint
- (5) conjugate, conjugation, conjugal
- (6) conjunction, conjuncture, conjunctive
- (7) disjoin, disjoint, disjunctive
- (8) enjoin

- 8 なお、これらの単語は印欧語族の1つである **Sanskrit** 中の **yoga** と関連のあるものです。yoga、ラテン単語 **jungere** 及び英単語 **yoke** は、その存在が想定されている (**imaginary**) けれどもその使用が確証されていない (**unattested**) 印欧語根 **yeug-** (**to join** 等) からそれぞれ分出したものであると考えられています。
- 9 最後に、上記 6 において取りあげた第 1 変化動詞 **declinare** (**to bend aside, turn away, deflect** 等) 中の **clinare** に関連して **clinatus** (**inclined, bent, leaning** 等) , **clivus** (**a slope, rise, gradient** 等) 等が生じていますが、これらの語に関連する英単語には、次のものが含まれます。
- (1) **decline, declination, declension**
  - (2) **incline, inclination**
  - (3) **disincline, disinclination**
  - (4) **recline**
  - (5) **acclivity**
  - (6) **declivity**
  - (7) **proclivity**
  - (8) **client, clientele**
  - (9) **climate, climax, clinic** (これらはギリシャ語源英単語ですが、さかのぼればラテン語源単語と同一の印欧語根に到達しますので、列挙します)